

2017年12月25日発行

エコ・リサ通信

第 101 号

特定非営利活動法人

埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

エコ・リサ環境学習会開催のお知らせ！！

「人工香料から身を守ろう」

日時 1月27日(土) 14:30～16:30 (14:15～受付)

場所 吉川市民交流センターおあしす
ミーティングルーム4

講師 田中輝子さん

1989年に「汚さないでお母さんー川、水、石けん」を発行
第2回埼玉地球環境賞優秀賞受賞 埼玉県消費生活功労賞受賞
日本消費者連盟会員 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会会員など
数々の市民運動を牽引されてきています。

人数 50名 **対象** どなたでも

資料代 300円

申込み NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

ホームページ <http://www.townnavi.info/eco-risa/>

FAX 048-829-7110

主催 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

共催 環境ネットワークよしかわ、よしかわ市民ネットワーク

お問合せ infomation@kankyou-yoshikawa.org

※詳しくは同封のチラシをご覧ください

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

家庭内の日用品から健康被害！ご存知ですか？

～皮膚がかさかさする、頭痛、めまい、吐き気、耳鳴り～

原因は、ボディシャンプー、毛染め剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤などに含まれる合成界面活性剤、また、殺虫剤に含まれる農薬などの可能性があります。

合成化学物質でできた日用品



環境省ホームページ PRTRインフォメーション広場から

化学物質は私たちの生活を豊かにし、また、便利で快適な毎日の生活を維持するうえで欠かせないものとなっています。現在、原材料や製品など、いろいろな形で流通している化学物質は数万種類といわれています。

私たちは、意識するしないにかかわらず、日常生活や事業活動において多くの化学物質を利用し、それらを大気や水、土壌を通じて排出しています。そうした化学物質の中には環境や人の健康に影響を及ぼすおそれがあるものがあります。

化学物質と上手につきあっていくためには、身の周りの化学物質の環境リスクを正しく理解するとともに、市民、事業者、行政が協力して環境リスクを減らす取組を進めることが求められます。

PRTR制度は、この環境リスクを考える際に重要な化学物質の排出・移動情報を、国が集計、公表する仕組みです。化学物質の性質や身近な製品中の成分、化学物質の環境中への排出状況や体への取り込み量などについて関心を持ち、考えることが重要です。

重い健康被害を受けてから気づくのでは遅すぎです。

妊娠中、子育て中の方へ、健康被害を避けるためにぜひ知っておいてほしい！

耳鳴り・めまい・難聴 を起こす原因に化学物質の害も！

(参考：耳鳴り・難聴を自力で治す最強辞典)

毛染め液 (アニリン色素の誘導体など)

頭皮から脳に染み込み、耳や目の働きをコントロールする前庭小脳に悪影響。

対策：天然素材のヘナなどを活用しましょう。

農薬・シンナー、接着剤、塗料などの有機溶剤

長期になると小脳にも異常がでます。換気を十分に、防塵マスクに肌を隠す服装。

報告：グリーンコンシューマー委員会 大前 万寿美



一般社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>

資源循環推進課コーナー

災害廃棄物処理図上訓練を実施しました！

1 災害廃棄物

地震や水害などの災害により発生する廃棄物のことを災害廃棄物と呼びます。この災害廃棄物は一度に、著しく大量に発生することから、その処理には多くの人員と長い期間を要することになります。生活環境の保全及び公衆衛生上の支障の防止を図り、円滑で迅速な処理を行っていくためには、事前の備えが非常に重要です。

2 災害廃棄物処理図上訓練

埼玉県では、災害廃棄物への備えの一環として、昨年度から災害廃棄物処理図上訓練を実施しています。この訓練では、県や市町村職員等が災害廃棄物処理を疑似体験し、大規模災害発生時における様々な課題やその対処方法等について学びます。実際に災害が発生した場合に広域的に連携して迅速かつ的確な処理ができるようにすることを目的としています。

3 今年度の訓練

今年度は全体研修及び大規模地震を想定した地域別訓練を実施しました。

(1) 全体研修（座学） 10月23日

昨年4月に発生した熊本地震の現場を体験した熊本県西原村の担当者の講演や、国の支援策等に係る環境省の担当者から説明を受け、訓練参加者の災害廃棄物処理に対する意識を高めました。



(全体研修の様子)

(2) 地域別訓練 11月8日、22日、12月1日

大規模地震により広域的に大量の災害廃棄物が発生したことを想定し、県東部、南部、北部の3エリアで地域特性に合わせた状況を付与する図上訓練を実施しました。大規模地震による被害が発生している状況下で、災害廃棄物処理に関して発生する様々な状況に対し、県、市町村及び一部事務組合の職員が仮想市町の職員として対応しました。



(地域別訓練の様子)

4 実施結果

県職員、市町村職員及び一部事務組合職員など計約300名が参加しました。参加した職員からは、「対応が後手に回ってしまった。」「想定される事態を考慮し、事前に動いておくことが重要だと感じた。」「情報収集や他機関との連携の必要性を感じた。」など様々な感想が寄せられました。

本番さながらの図上訓練の経験が、いざという時に役立つことを期待し、今後も災害廃棄物処理図上訓練を継続していきたいと考えています。

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055

不動産・商業登記全般

市民と行政がともに学ぶ エコ・リサイクル交流集会2018のお知らせ “困った”ごみ出し解決法!

＜日時＞平成30年2月17日（土）

10時20分～16時30分（受付10時～）

＜会場＞大宮ソニックシティ 4階 市民ホール402集会室

＜参加費＞資料代 500円（エコ・リサ会員は300円）詳しくは同封のチラシをご覧ください

基調講演 「ごみ集積所の実情と高齢者支援事業の実態」

蓮田白岡衛生組合 庶務課長 兼 会計室長 黒崎 晃さん

各地の現実と課題

1. 「市民・団体の活動事例から解決方法を探る」

★高齢者問題、私たちはいつまで正しく分別ができるのかしら？」

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会理事 大前 万寿美さん

★新狭山ハイツの取り組みと狭山市の取り組み

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会理事 土淵 昭さん

2. 「さいたま市の廃棄物処理の現状と取組」さいたま市環境局 資源循環推進部

資源循環政策課課長補佐 兼 政策推進係長 三角 直史さん

3. 「バリアフリーからユニバーサルデザインへのシフト」～やさしさ溢れる街づくり～

特定非営利活動法人 SETAGAYA21 代表 古谷 真一郎さん

創業
昭和3年

珍来

www.chinrai.co.jp



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも
さいたま営業所 ☎048-640-4343 FAX048-644-7674



街を遊ぶ！食べる！極める！ www.townnavi.info/saitama

編集後記：エコ・リサ通信 101号をお届け
します。

報告はなく、学習会と交流会のお知らせで
す。奮ってご参加ください。

轟 涼



ゴトグループ

快適な環境づくりのお手伝い。

村岡営業本部 ☎048-537-0555

ゴトグループ



<http://www.510goto.co.jp>